

平成 28 年 9 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

9 月の業種別景況の前月比 DI 値は、14 業種の中で 5 業種が好転、前月同等が 8 業種、悪化が 1 業種で、全体の景況の前年比 DI 値でも好転している。

製造業では概ね前年よりも受注量、売上が増加しているが、卸売業、小売業、商店街、サービス業では天候不順も影響し売上が減少している模様である。引き続きまた、繊維工業、サービス業や建設業からは人員・人材不足の報告もある。

県内中小企業は、製造業の一部で景気回復感がある中で、非製造業ではこの景気回復感が個人消費を押し上げるのを待っている状況である。

山口県の主要指標 DI 値（平成 28 年 9 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 3.8% 悪化：26.3% DI 値：▲22.5% ポイント

売上高

（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加： 12.5% 減少：37.5% DI 値：▲25.0% ポイント

収益状況

（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転： 10.0% 悪化：23.8% DI 値：▲13.8% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 28 年 9 月末現在）

--	--	--	--	--

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲50.0	0.0	50.0	▲24.3

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲40.0	▲33.3	▲50.0	▲18.2	0.0	▲14.3	0.0	▲21.2

全体
▲22.5

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	飛び石のシルバーウィークで売上が減少。2度の台風の影響が客足に影響。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	引き続いて雇用情勢は厳しい。	パン・菓子製造業 下関市
	8月は対前年同月比▲11.4%。9月は9/29時点で対前年同月比▲25%程度的大幅ダウン。大河ドラマ効果がほぼ無くなり前々年の水準に戻り、昨年はシルバーウィーク（5～9連休）であったことも大きく影響している。今後も前年比ダウンの傾向が続くと予測されるが、パブリシティ露出強化など対策を講じる。10月はTV朝日系の全国放送番組「食彩の王国」に登場の予定。	水産食料品製造業 萩市
	商品の動きが鈍い。全体的に景気の悪い雰囲気が広がっているようだ。	水産食料品製造業 下関市
	関東方面よりの注文は昨年並ですが、西日本・九州で販売が不振。	
	長雨が続き作物の生育の遅れが懸念されている。地球温暖化に伴う大型台風の多数発生で企業経営への天候リスクが更に高まってきている。大雨などの自然災害へ対応できるようなインフラの整備を進めることが、特に重要になってきている。	精穀・製粉業
繊維工業	主力販売取引先の受注増により来年2月末まで受注があるが、12月からの新製品販売に1月のキャンペーン用の備蓄生産である。技能実習生受入は現在、中国人28名、ベトナム人37名の計65名である。求人については、相変わらず最悪の状態である。	下着類製造業
	店頭の販売状況は不振が続いているが、国内の生産量に影響は無く、量的にも安定している。	外衣・シャツ製造業 山口市
	メーカーは展示会が終了しこれから発注をする時期である。端境期であるが、手が遊ばない程度に受注ができています。	外衣・シャツ製造業 下関市
	継続発注のある製品も在庫過多となっており、発注を見合わせている。メーカーも様子見の発注が続いており、不安定な受注状況が続いている。	外衣・シャツ製造業 萩市
木材・木製品	シルバーウィークと台風で売上が減少した。	製材業・木製品製造業 山口市
	先月から引き続いて公共工事関連の仕事があり操業度は上昇した。	製材業・木製品製造業 下関市

印刷	今年で6回目の取組となるが、青年部が山口県盲人協会へユニバーサルデザインの点字カレンダーの贈呈を行った。	印刷 下関市
	前月の売上が少なかったため、資金繰りが苦しい状況が相変わらず続く。	印刷 山口市
窯業・土石製品	9月の出荷量は、 (平成27年9月)骨材 86%、路盤材 91%、再生材 65% ↓ (平成28年9月)骨材 60%、路盤材 93%、再生材 121%	碎石製造業
	出荷量は、前月比103%、前年同月比101%。4月～8月までの出荷量は、前年同期比88%（前年度は96%）現時点では、セメント・骨材等の資材調達で特に問題は生じておらず、生コン価格は安定している。	生コンクリート製造業
	景気低迷、うるう年、加工をしない業者の参入等により、昔からある石材店の経営が圧迫されている。従来はお盆・お彼岸等のお墓参りの際に、気になる所があるとの問い合わせがあったが、今は営業がいる業者が各家を回り見積書をばらまいて営業している。修理にせよ新規でもお墓は数年で建て替える消耗品では無く、今仕事を取り尽くしたら将来の自分達を圧迫するという事を肝に銘じなければいけない。従業員が多い事業所は、人員整理という最悪のことも頭の片隅にでも置いておく必要があるのではなかろうか。	石工品製造業
	9月に入り8月より若干の萩市内観光客が増加し、団体旅行客も多く見られるようになった。売上も前年同月比で同等レベルまで持ち直した。組合が商品を提供している浅草のアンテナショップの9月の売上は、8月と比較して大きく売上が落ちている。秋の観光シーズンで萩焼の売上が伸びる時期に数字が落ちた原因は、テナントビルのお客の減少が理由ではないかと考えられる。関東方面の百貨店や陶器店からの受注も、昨年と比較して動きが鈍く、取引額も減少している。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	9月の景況は8月と同じ状況である。自動車関連では、新車開発の先行投資とみられる受注が順調であるが、海外工事関係は依然として受注が無く、組合全体では動きが鈍い状態である。	一般機械器具製造業 防府市

	<p>機械検査、機械加工関係の下請企業の受注状況は安定している。惣菜、自動車、造船関係は好調で残業も多く、組合では36協定の遵守を指導している。食品加工、食肉加工業、溶接関係、惣菜等は、引き続き人材の確保が困難で、外国人技能実習生受入の増員や新規相談があった。特に惣菜関係の人手不足は深刻である。国の制度改正が継続審議になったことに伴い、介護施設からの問い合わせが増えている。各業界とも日本人が短期で退職することに苦慮している。最低賃金のアップも実習生には朗報であるが、一部企業には負担となっている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>金型製造の生産設備操業度はマシニングセンター、ワイヤー加工機については先月同様に推移しているが、人員減の影響もありミガキ、手仕上げに人員を取られている状態で遅れが発生している。9月になりやや受注が滞り年末に向け受注の確保が必須である。試作金型を先行して製作しその結果により量産型に移行する案件が多く有り、これに期待をしている。見積り案件は相変わらずあるが、低価格、短納期の要望が強く、厳しい面もある。成形製品の生産設備稼働率は上昇傾向にあるが、民生部品（家電部品、電子部品）の受注量の変動が激しく、先が読みにくい状況が続いている。</p>	特殊産業用機械製造業
輸送機器	<p>鉄道車両部門は順調に生産が続いている。長期的にも受注が決まっており、今後は仕事をどのように熟していくかが課題となる模様。精密各部門もまずまずの生産を継続している。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>例年この時期は特に「イリコ」の入庫が減少するが、その他も物も大幅に減少し在庫も▲16.7%の減少している。12月まではこの状態がつづく見込み。</p>	乾物卸売業
	<p>今年は猛暑で雨が降らないことから海水温が下がらないため魚が獲れないが、台風の影響で雨が降り10月頃から魚の入荷も多くなると考えている。中国のフグが入荷したが、価格も安く品質も良い。</p>	生鮮・魚介卸売業
小売業	<p>9月は各化粧品メーカーが新商品を発売したにもかかわらずメーカーの売上等が前年同か、微減とのことで、景気は良くないと感じている。組合員のお店も集客力のあるインショップでは売上が伸びているが、路面店等は売上が上がらない模様である。</p>	化粧品小売業

	<p>組合員企業はギリ貧の状態、よくなる兆しは見えず、売上の増加は諦めている事業所もあり、現状維持が精一杯の状態。事業主も顧客も高齢化しており、顧客が老人施設等に入り来店者がいなくなるというお客の自然減少が続き、少子高齢化が進む限り改善の見込みはない。特に年金受給者の多い地域でもあり将来不安のため節約ムードが定着している。また、若年層においても所得格差が広がっており貧困家庭の消費が低迷している。地方の時代とはいえ政府が人口減少・高齢化・格差社会など抱えている問題を解決して行かないと小規模事業者の未来は無い様に思える。こうした中でも飲食店は善戦しており、小売店は厳しい状況である。地区内の中小企業者の動向は、土日の天候が不順であったため客足がにぶく売上が減少傾向。秋冬物の売上也はまだ半袖の状態、出足は鈍い。人手不足が深刻。看護師やヘルパーなど職員の確保に苦勞している施設が多くなっている。また、サービス業や土木建設業において若年就労者が長続きせず労働保険の脱退と加入の更新手続きが頻繁に行われている。賃上げの出来ない業者は深刻である。外国人労働者を採用している企業が多くなり実績を上げているもようだが、外国人労働者に頼る時代がきたのかも知れない。</p>	各種商品小売業 岩国市
	<p>前年より休日が1日少ない分、売上が約2%減少する見込み。中心商店街への人出は鈍い。</p>	各種商品小売業 山口市
	<p>台風の影響もあり客数、売上也も前年を下回る売上状況。尚、10月にはカラオケ喫茶の店舗が別館にオープンする。</p>	各種商品小売業 長門市
商店街	<p>県内の地価も商業地ではマイナスとなったように、商店街の集客数も減少傾向が続いており改善点が見つからない。イベントを実施してもいつものようにその時だけの賑わいである。現在の消費者ニーズは何かとらえ直し待ちの姿勢を改め、ネット通販等時流に合った商売もテストすることも必要と考える。</p>	山口市
	<p>衣類関係が季節の影響で多少売上が上向いている。野菜を扱う店は値上がりで収益確保に苦慮している。他の業種はあまり変わりなく経営は厳しいもよう。</p>	萩市
サービス業	<p>移動中央会会議の折に、他業種の方から若者の就労者の減少と、技術の教育問題が話されていたが、美容業も学校の入学者の減少等、美容師育成の不安材料が多々ある。</p>	美容業
	<p>高齢者等による組合脱退者も多く今後の組合運営が厳しくなる。</p>	理容業

	<p>今年も9～10月の2ヶ月間、国と整備業界では自動車の「定期点検整備促進運動」を全国一斉に展開している。自動車ユーザーの自主的な保守管理意識の高揚を図ることを目的とし、去る、9月3日第一土曜日を「マイカー点検日」と定め、「おのだサンパーク」においてイベントやマイカー無料点検などを行い、女性ドライバーをはじめ多くの来場者があった。また、期間中は、県内各地でマイカー点検教室を開催し、平成28年度スローガンである「変わる世に 変わらぬ安心 マイカー点検」を合い言葉に、点検・整備の啓発と推進のPR活動を行う予定。</p>	自動車整備業
	人手不足が続いている。	スポーツ・健康教授業
	公共事業関係の長期滞在が多い模様。	旅館業
	例年9月は閑散期で夏物衣類の出待ちといった感じだが、今年は度重なる台風の影響や雨が多かったので客足がかなり鈍っている。また、今年は気温が早く下降するもようなので、10月は早めに衣替えがスタートするよう期待している。	普通洗濯業
建設業	8月の山口支部中電への工事申請は129件。太陽光発電への申請24件、オール電化申請72件、LED街路灯への切替・新設申請19件であった。	電気工事業
	2～3年前から決算好調の事業所が増えているが、今春からは工事量が減少し、現在も忙しくない状態が続いている。事業者が雇用している技能者が漸減している。	左官業
	10月1日より入札単価の改定で発注額が高くなるため駆込みの発注も多く、9月は見積書作成や入札もあり忙しかった。前年度より若干多い受注量があり忙しく、2月末までに受注済み工事を熟す時期となっており、10月からの発注は例年のごとく少量となる見込みである。管工事の職人については、東北他の災害復旧やオリンピックに予算や人員を割くようになると予想しているが、今現在はまだ話には聞いていない。ガードマンは転職者が多く全体的に人員不足となっており、取合いである。	管工事業
	あいつぐ台風の影響で天候不順で屋根工事が遅延しており、結果、売上の減少に繋がっている。熊本地震以降、瓦屋根が地震に弱いという風評が広がっており、これが瓦離れに繋がることを危惧している。	屋根工事業
	9月の中盤以降は落ち着いてくると思っていたが意外に好調であった。小さな物件を取りこぼしなかったのが良かったのだと思う。10月～年度末にか	内装工事業

	<p>けては好調が続くと思われる。</p>	
	<p>建設業に魅力がないのか、技術職・技能職等の求人に対し何の反応もない。工事が無く、お金が無く、活力が無い。</p>	<p>土木工事業 柳井市</p>
	<p>9月の受注高は対前年同月比150%。今年度の累計は対前年比112%。</p>	<p>土木工事業萩市</p>
運輸業	<p>連休と台風で輸送スケジュールがやや乱れ、長距離輸送のトレーラー車が特に不足したが、中・近距離輸送は順調で、売上は前年同月比で0.6%増加した。燃料費は1.2円の値下げであるが、価格が不安定で「軽油引取税」が大きな負担となっている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下松市</p>
	<p>9月の輸送受注実績は6ヶ月連続の前年割れとなった。下期は上向くとの話も出ていたがどうやら低水準が続きそうである。保管庫の運営は順調に推移している。燃料価格は前月よりも若干上がっている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
	<p>倉庫部門は好調である。荷物保管のみならず、軽作業や事務所兼倉庫としての賃借依頼など多岐にわたる依頼がみられる。運送についてもまずまず案件はあるようである。相変わらず人員不足が続いている。県内の求人に関しては完全に売り手市場で、ことさら体力的にきついイメージのある物流業には応募者が集まらないようである。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
	<p>8月は高校総体で売上微増。9月は観光のシーズンで観光タクシーの依頼はあるが、個人タクシーの台数減少と観光担当できる運転手の減少もあって、売上の増加にはならない。</p>	<p>一般旅客自動車運送業 下関市</p>
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、8/1～31分は前年比+0.4%、9/1～20は▲9.2%。当組合の取扱いは、光市，下松市，周南市，防府市の地域で、8月分については、周南▲0.6%，下松+6.4%，光▲3.0%，防府市地区が▲5.3%で、組合員の全域で▲0.8%、地区外（員外）+16.6%で合計+0.4%で、8月分は比較的好調であったが、9月になって暗転した。台風などの天候不順や、休日が多い事などが影響していると考えるが、個人消費が基本的に回復していないように思われる。周南市では大型店舗やディスカウント店、全国チェーンの飲食店の出店が続いているが、思ったほど混雑していないように思われる。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、ボタン、プロパンのCP少し上がり（前月300\$/トンが今月305\$/トン）、為替が円安になったので、前月と同額となり、前年同月比で14%の安価となった。車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下が</p>	<p>一般旅客自動車運送業 周南市</p>

	<p>るのは大いに助かっているもようである。9月の状況を見ると、景気回復の実感は弱く、まだまだ厳しい状況が続いていると思われる。</p>	
	<p>9月もほぼ変わりなく推移している。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他非製造業</p>	<p>継続して取引は安定している。9月はほぼ8月並みの売上である。</p>	<p>介護事業</p>